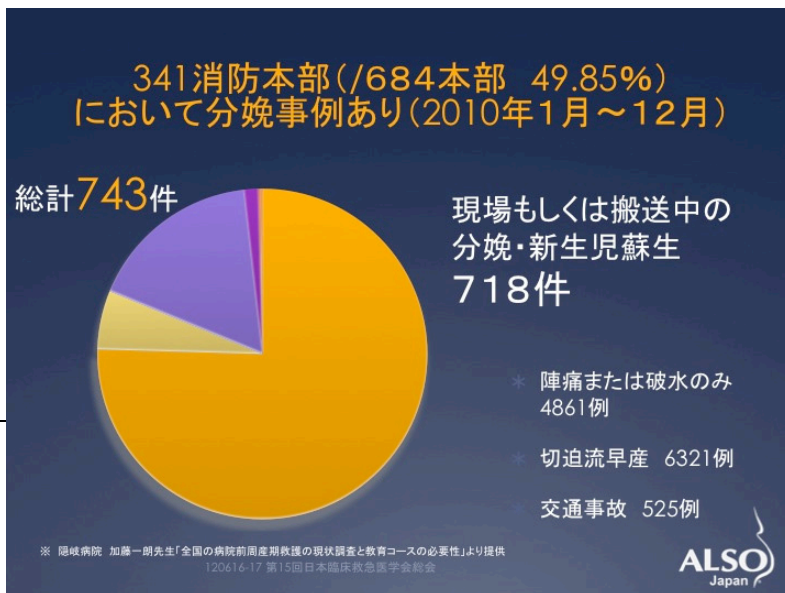


【はじめに】

全国消防本部に対するアンケート調査から、2010年の1年間に734件の病院前分娩事例があったとされています。また、妊婦にとって産科的疾患を除けば死亡原因の第1位は外傷ですが、2011産婦人科診療ガイドラインによると年間約1万人の妊婦が交通事故に遭遇し、20人前後の妊婦が外傷により死亡しているものと推定されています。



日常的に周産期領域に携わる医療従事者に対する ALSO (Advanced Life Support in Obstetrics) プロバイダーコースに対し、周産期医療が非日常的な医療従事者対象のコースが BLSO (Basic Life Support in Obstetrics) です。

Basic life Support in Obstetrics プロバイダーコース



- * 妊婦の評価(外傷を含む)
- * 分娩介助
- * 救急車内分娩ワークショップ
- * 新生児蘇生
- * 産後大出血/妊婦心肺蘇生

120616-17 第15回日本臨床救急医学会総会

【BLSO とは】

上記アンケートでは、病院前周産期救護教育に対する要望が9割近く認められました。「産科救急に遭遇する可能性があるプロバイダーの全てが標準化されたコースを学び、救急救命士から救急部スタッフ、産科医・小児科医へと連携をとることで妊産婦死亡・後遺症を減らすことができるのではないか」という観点に立った内容です。

※修了者は米国家庭医療学会 AAFP と ALSO-Japan が認定する5年間有効な認証を受ける事ができます。

日 程： 平成 29 年 11 月 3 日(土) 8:30~18:00 (予定)
開催場所： 山梨大学医学部 看護学科教育研究棟 1階
受講料： 8,000 円
定 員： 18 名 (公募予定はありません)
主 催： 山梨大学医学部産婦人科
共 催： NPO法人周産期医療支援機構

--